

記録的な猛暑が終わり、ようやく涼しくなったのに10月7日の幾代会は再びの30度越え！
 中央線の遅れで10時半ごろに6名が神代植物園の水生植物園で合流しました。
 参加者は久しぶりの太田さん、岡さん、川杉さんに樋口さん、木村（洋）さんと私の6名。
 そして下見は9月26日で中部さん、木村（洋）さんと私の3名で行いました。



こちらは近隣の神代植物園や深大寺周辺の喧騒は無く、とても静かで植物散策にはもってこいの場所です。

深大寺通りから水生植物園の入り口を抜けると展望が開けゆったりとした園全体が眺められます。

写真の右側が国分寺崖線で湧水が水生植物園に流れ込み水量豊かな湿地帯。木道や案内板が整備されハンノキや柳類が自然に近い状態で生育しています。



ツリフネソウ ツリフネソウ科 ツリフネソウ属
木道の脇に丁度見ごろのツリフネソウの群落を楽しみました。
青い果実を触ってみましたが、まだ弾けませんでした。



ハンノキ カバノキ科 ハンノキ属

水生植物園の中央にシンボリックに生えていたハンノキの大木。

枝が垂れ下がり枝先の雄花と葉腋に 1 個ずつ付いた雌花が解りやすい眼の高さで観察出来ました。



ハンノキ 4 点セット

葉っぱ、上の雄花、下の雌花と空飛ぶ扁平な種子。



ミゾソバ タデ科 タデ属

金平糖のような薄ピンクの優しい花が群生
湿潤な水で葉っぱも花も元気イッパイで綺麗です
見ていると心が和みホットします。



ヘクソカズラ アカネ科 ヘクソカズラ属

蔓で黄色い球形の果実が有れば、ほぼ本種。花や実が無い時は対生、悪臭、葉間托葉（対生する葉柄の基部に、二つの托葉が合着した三角形の托葉）を確認すると識別できます。

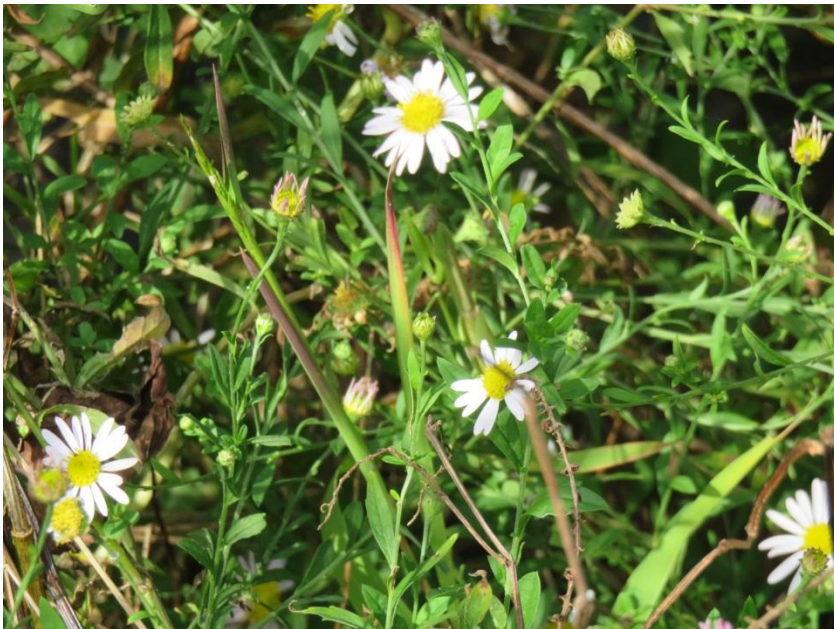


ヤブマオ イラクサ科 カラムシ属

秋はイラクサ科の植物が元気いっぱい。

ヤブマオはカラムシに比べ、それほど見かけませんが葉が対生し荒い鋸歯が特徴。

雌雄同株の花はビッチリと密に付く。



ユウガギク キク科 ヨメナ属

野菊の仲間で最初に花を付け、アチコチで群落を作ります。

青梅でも良く見かけます。



ワレモコウ バラ科 ワレモコウ属

これがバラ科？下記に詳しい説明が有ります。

<https://yuusugenoniwa.blog.so-net.ne.jp/2010-11-28>



センニンソウ キンポウゲ科 センニンソウ属

夏、十時形の真っ白な花を覆い尽くすように咲かせます。

今は4枚の萼片は既に落ち、銀白色の仙人のような髭がたなびいていました。



ヒガンバナ ヒガンバナ科 ヒガンバナ属

9月26日の10日前の下見では満開だったヒガンバナ。

もう御仕舞かなと思いましたが2-3株の残り花を楽しめました。



ガマズミ スイカズラ科 ガマズミ属

水生植物園の東側林縁に真っ赤な実がひととき目立ちました。

実りの秋ですね。

岡さんの葉っぱの本で調べて貰い本種と同定。



ウツギ ユキノシタ科 ウツギ属
柱頭が残った駒のような果実が面白い



テイカカズラ キョウチクトウ科 テイカカズラ属
樹木に付着根で貼りつきグングンと上方を目指します。
緑と紅葉した赤のコントラストが綺麗。
古い葉から順番に紅葉して散って行きます。

午前を観察は此処まで。

お腹すいたよね～～予定していた水生植物園隣の深大寺蕎麦・多聞でお昼にしました。

こちらは何と言っても山もりのそばで有名です。

下見では全員が天蕎麦、そして本番はみんな揃って仲よく冷たい山菜蕎麦でした。

午後はイヨイヨ国指定史跡 深大寺城跡の攻防です。

武蔵野面影を残す雑木林の舗装されたなだらかな坂道を登ると目の前に飛び込んできたのはソバ畑です。



ソバ タデ科 ソバ属

地元、深大寺小の5年生が種まきした正真証明な深大寺蕎麦。

世話をした小学生のみが食べられます。

白い花がほぼ終わりソロソロ刈り取りですネ。

子ども達が美味しい蕎麦を食べられます様に！



マヤラン ラン科 シュンラン属

土橋を渡り北側虎口から第一廓に足を踏み入ると希少種のマヤラン。

これ程の群生は初めて、スゴイ！感動です。

幾代会の仲間が行くのを待っていたかのように、終わりがけの花が見られました。

菌類に寄生して生活する菌従属栄養植物、いわゆる腐生植物です。そのせいか前年に確認出来ていても、かならずしも本年もその場所に生えるとは限りません。



上向きの多数の果実が見られ、目印に沢山の枝が第一廓の林床に挿して有りました。



ソヨゴ モチノキ科 モチノキ属

深大寺城跡の第二郭ふるき廓側に長い花柄にぶら下がった赤い果実が風にソヨイで可愛い。



エゴノキ エゴノキ科 エゴノキ属

ぶら下がった果実の果皮が下からぽっかりと割れヤマガラを訪問を待っていました。

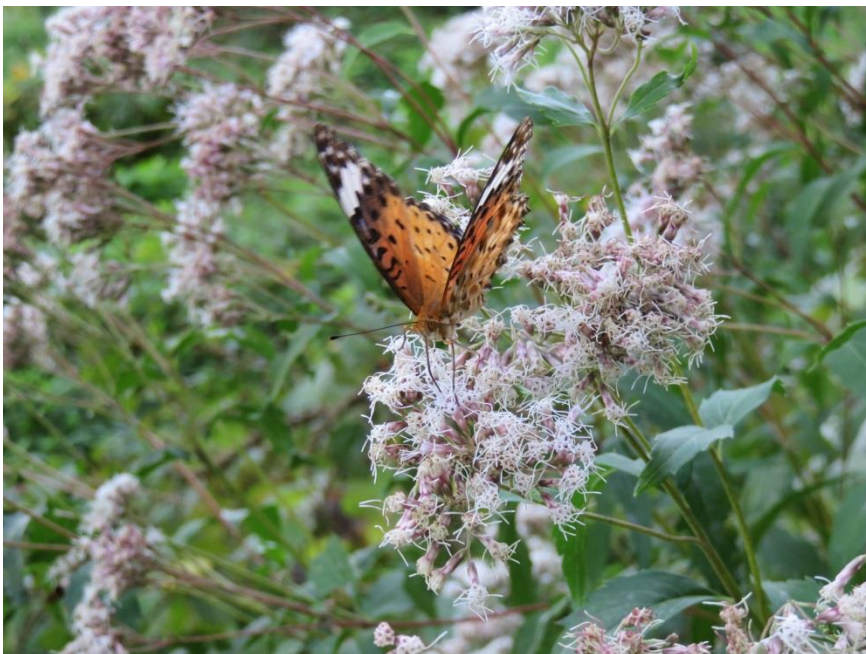


フッキソウ ツゲ科 フッキソウ属

水生植物園入口のシンボルツリーの下に植栽されていました。

グランドカバーとして年中、艶の有る葉が楽しめます。

写真は蕾で花は4月頃に咲き、花弁が無く地味～～



フジバカマ キク科 フジバカマ属

最後に観察した水生植物園内の小川沿いにフジバカマが見頃でした。

もじゃもじゃとした花の蜜を求めて蝶が飛来！

人の気配に逃げることなくセッセとお食事中。

調べるとフジバカマにはアサギマダラ他 15 種もの蝶が飛んでくるとか。

これはタテハチョウの仲間かな。ツマグロヒョウモンに似ています。

10 月の幾代会は西多摩を離れ調布市の神大植物園・水生植物園と深大城跡を訪問しました。青梅の吹上しょうぶ園と勝沼城址に配置が似ています。

其々が以前は水田で今はハナショウブに特化した吹上に比べ水生植物園はショウブ、葦、ガマ、柳類、タデ類等が年間を通じて水辺の自然を楽しめます。

一方、三田氏の勝沼城址は杉ヒノキに覆われ虎口や廓も解りにくいのですが、上杉氏の深大城址は建物の跡も解りやすく綺麗に整備されています。

何れも北条氏に敗れた戦国時代前期の城址です。

植物を通し 2 つの城址と水生植物園を眺めると面白いと感じました。

今日も一日、お疲れ様でした。

もう少し植物の勉強をして説明が出来ればと今日も反省し明日に繋げました。

見やすい写真は木村（洋）さんに提供してもらいました。

皆さんから色々なチョコをご馳走に成り、今日も有難うございました。